

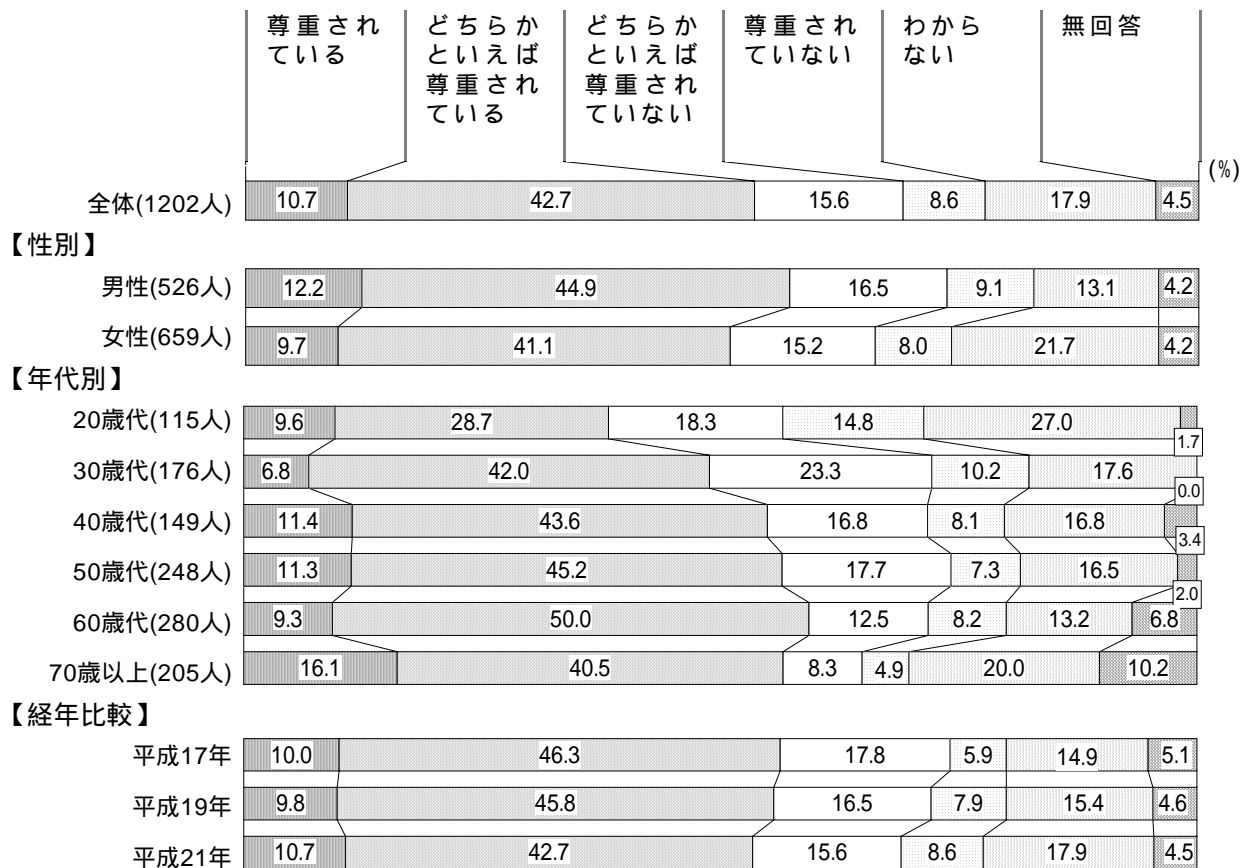
6 . 人権の意識について

6 - 1 . 基本的人権の尊重について

“基本的人権が尊重されている” 53.4%

問19.「人権」とは、誰もが生まれながらにして持っている権利であり、幸せに生きるためになくってはならないものです。あなたは、今の社会で基本的人権が尊重されていると思いますか。1つ選び、番号を で囲んでください。

基本的人権の尊重について



全体で見ると、「尊重されている」は10.7%、「どちらかといえば尊重されている」は42.7%で、両者を合わせた53.4%が“基本的人権が尊重されている”と回答しています。

性別で見ると、“基本的人権が尊重されている”は、男性(57.1%)が女性(50.8%)を6.3ポイント上回っています。

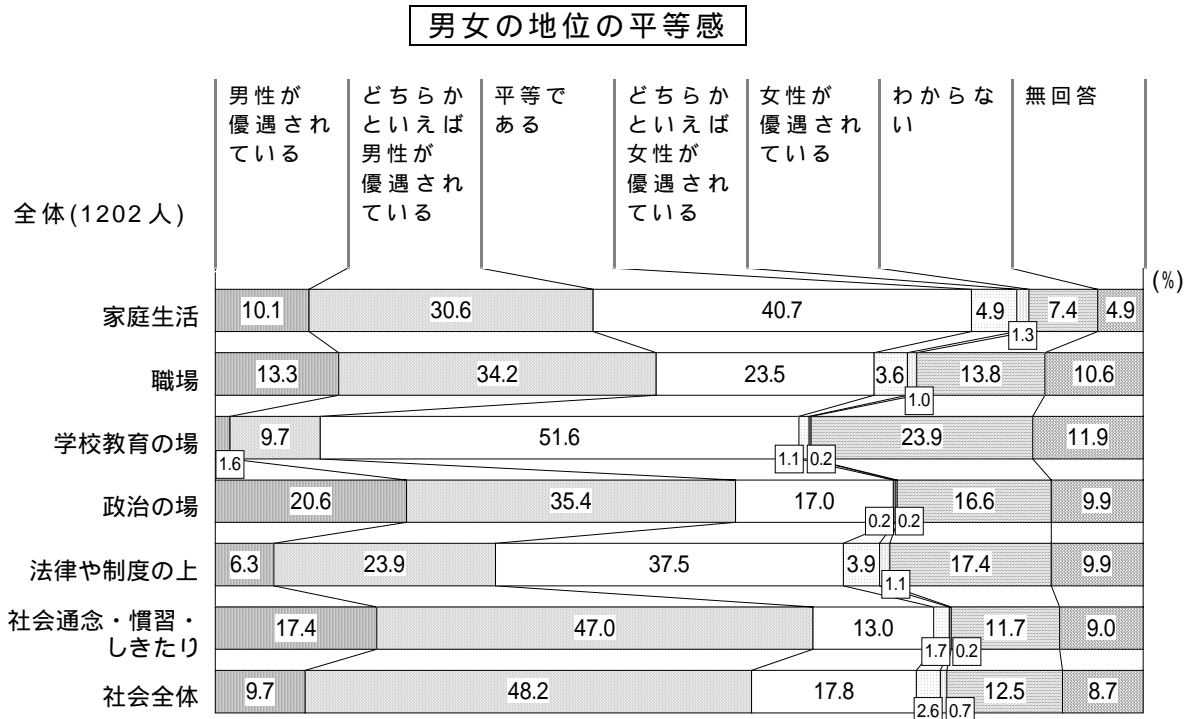
年代別で見ると、“基本的人権が尊重されている”は、年代が上がるほど高くなり、特に60歳代で59.3%と高くなっています。また、「尊重されていない」と「どちらかといえば尊重されていない」を合わせた“基本的人権が尊重されていない”との回答は年代が下がるほど高く、30歳代で33.5%、20歳代で33.1%となっています。

平成17年度からの調査結果と比較すると、“基本的人権が尊重されている”は減少傾向、“基本的人権が尊重されていない”は増加傾向がみられます。

6 - 2 . 男女の地位の平等感

学校教育の場 が最も平等

問20. あなたのまわりでは、次の場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれ1つ選び、番号を で囲んでください。



全体の概観と性・年代別

「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の両者を合わせた“男性優遇と感じている”は、社会通念・慣習・しきたりが64.4%、社会全体 政治の場 で5割台、職場 家庭生活 で4割台と高くなっています。学校教育の場 は、「平等である」が半数を超え“男性優遇と感じている”を大きく上回っており、法律や制度の上 でも「平等である」が“男性優遇と感じている”を上回っています。

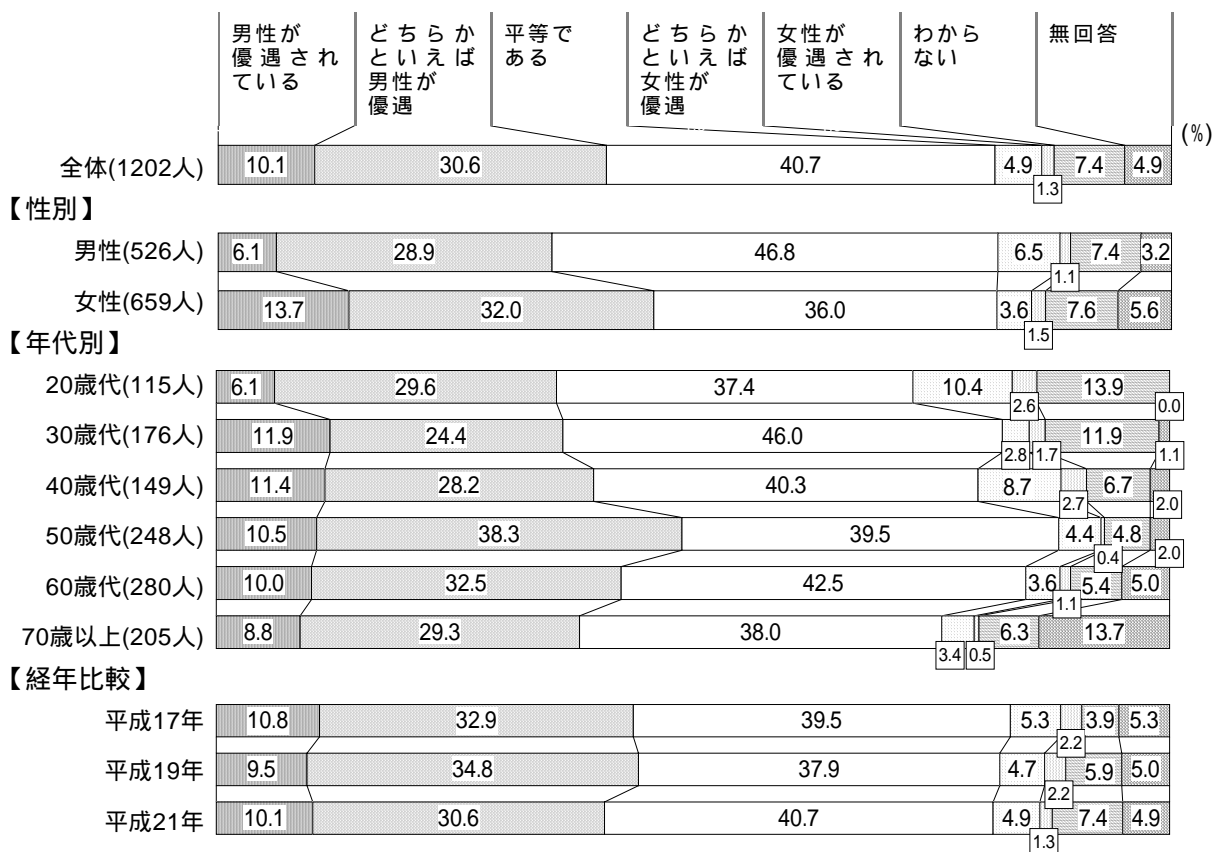
性別で見ると、“男性優遇と感じている”は、社会通念・慣習・しきたり を除くすべての項目で、女性が男性を上回り、「平等である」でも、女性が男性に比べて低くなっています。「平等である」に注目すると、法律や制度の上 では17.6ポイント、政治の場 では13.8ポイント、学校教育の場 では11.7ポイント、社会全体 では11.0ポイント、家庭生活 では10.8ポイント、職場 では9.7ポイントの差があります。

年代別で見ると、“男性優遇と感じている”は、家庭生活 、 職場 、 法律や制度の上 、 社会通念・慣習・しきたり 、 社会全体 で50歳代が最も高い割合を示しています。

平成17年度からの調査結果と比較すると、“男性優遇と感じている”は、政治の場を除く各項目で減少がみられ、社会全体 では、平成19年度より3.7ポイント減少しています。

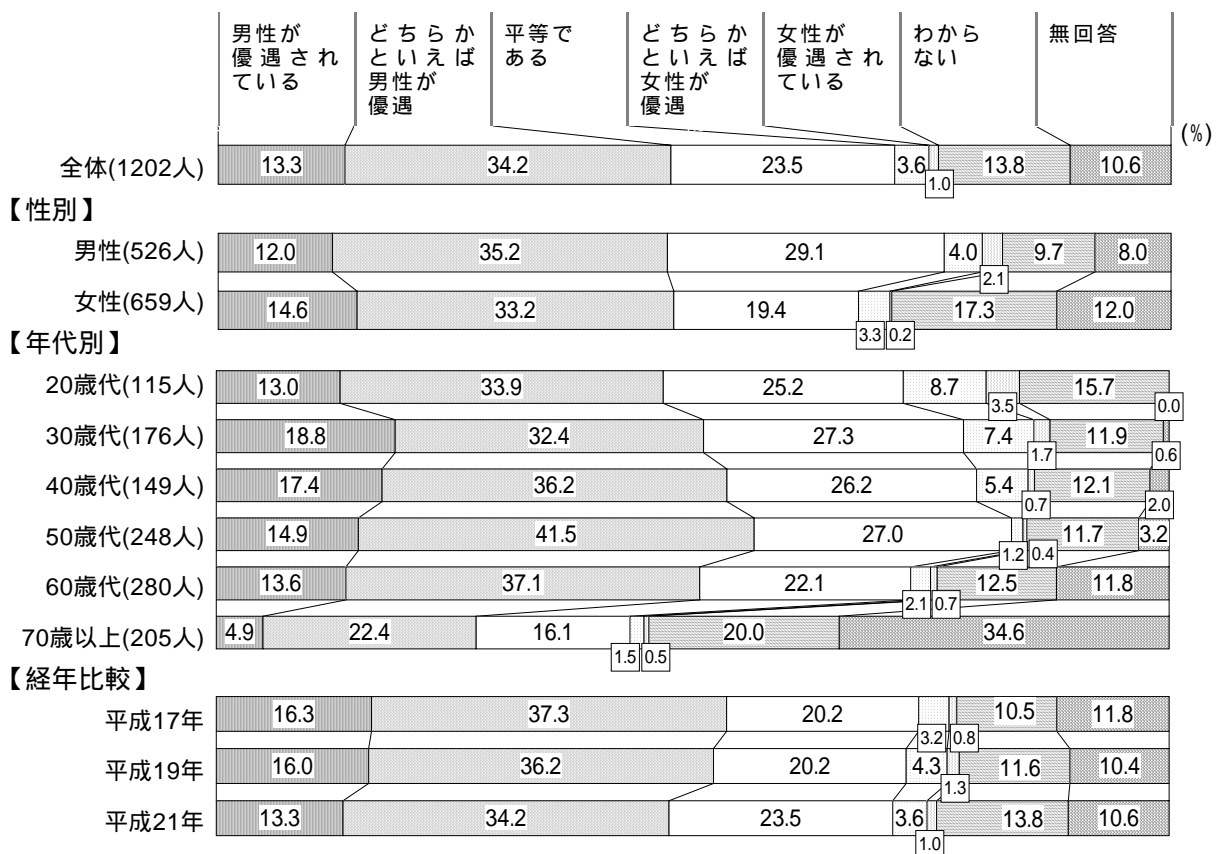
家庭生活 平等である 40.7%

家庭生活



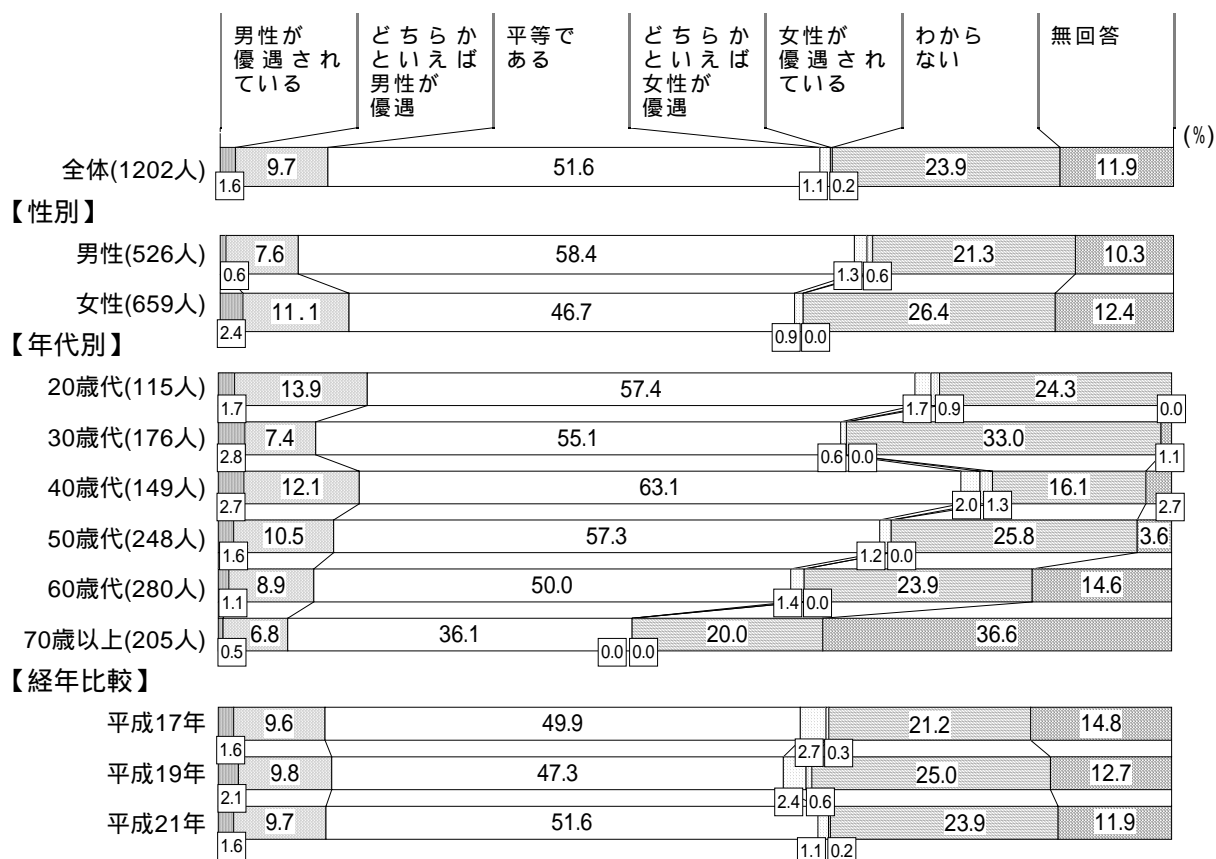
職場 平等である 23.5%

職場



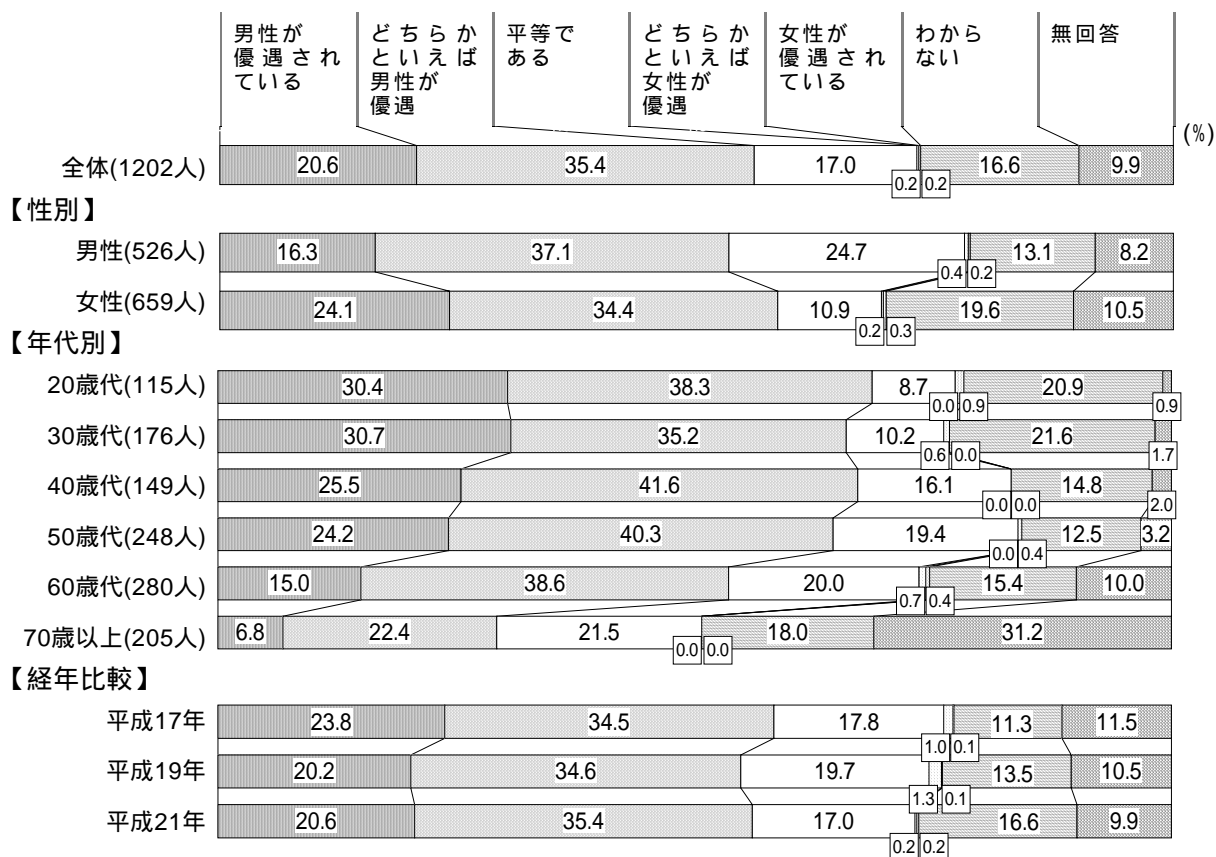
学校教育の場 平等である 51.6%

学校教育の場



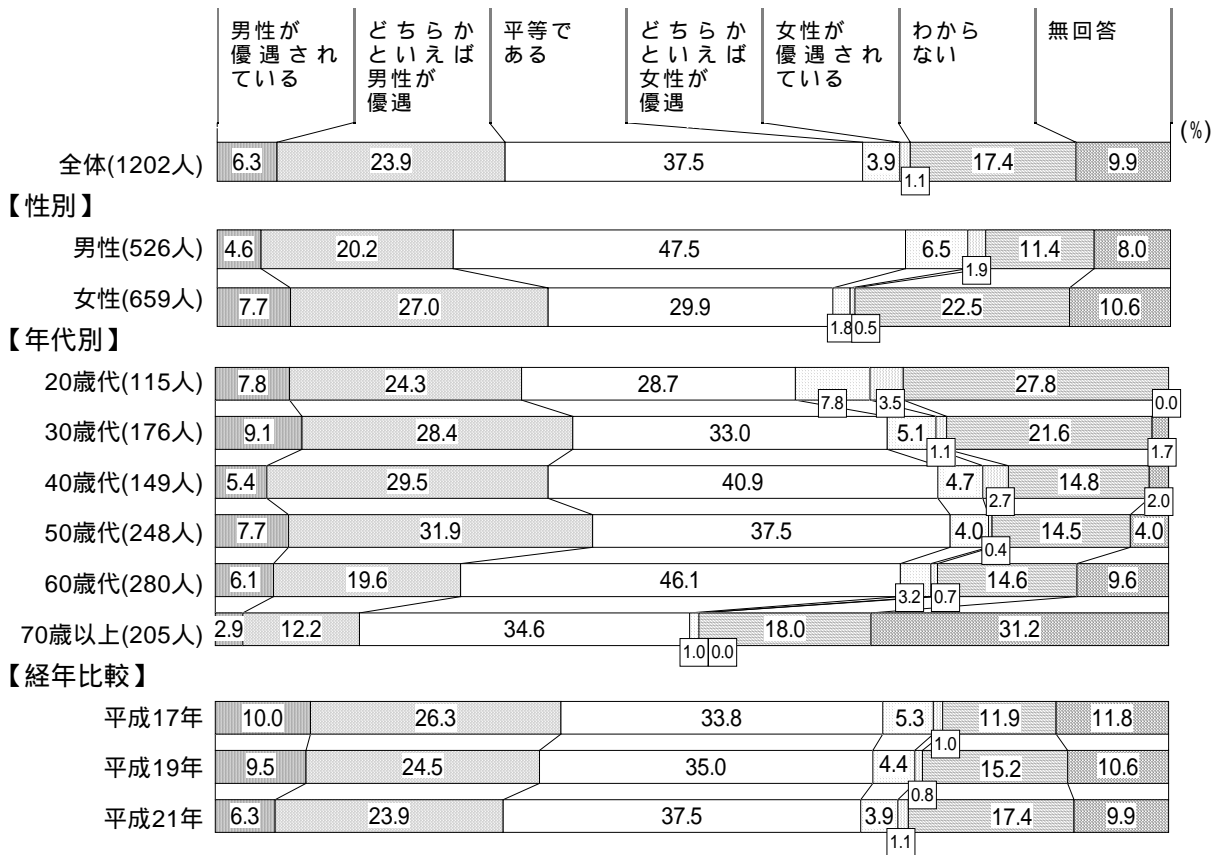
政治の場 平等である 17.0%

政治の場



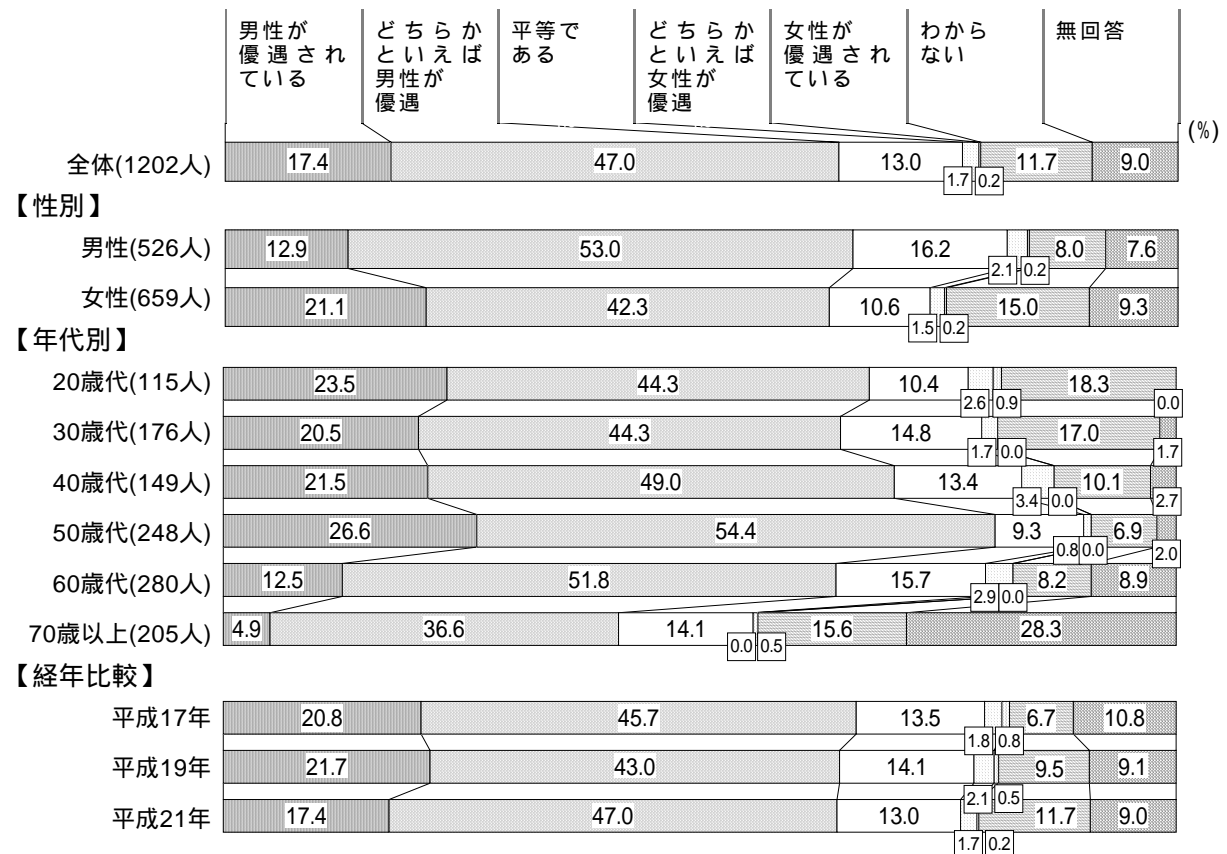
法律や制度の上 平等である 37.5%

法律や制度の上



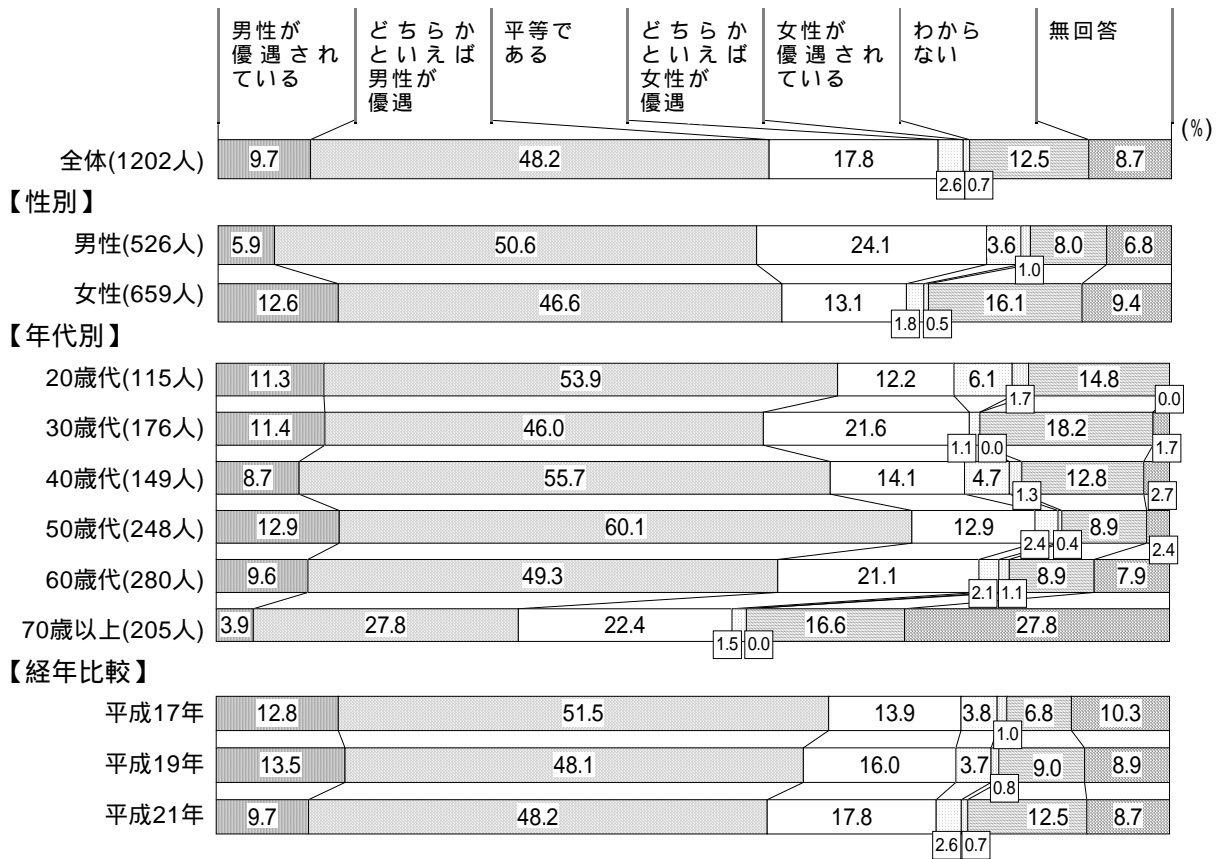
社会通念・慣習・しきたり 平等である 13.0%

社会通念・慣習・しきたり



社会全体 平等である 17.8%

社会全体

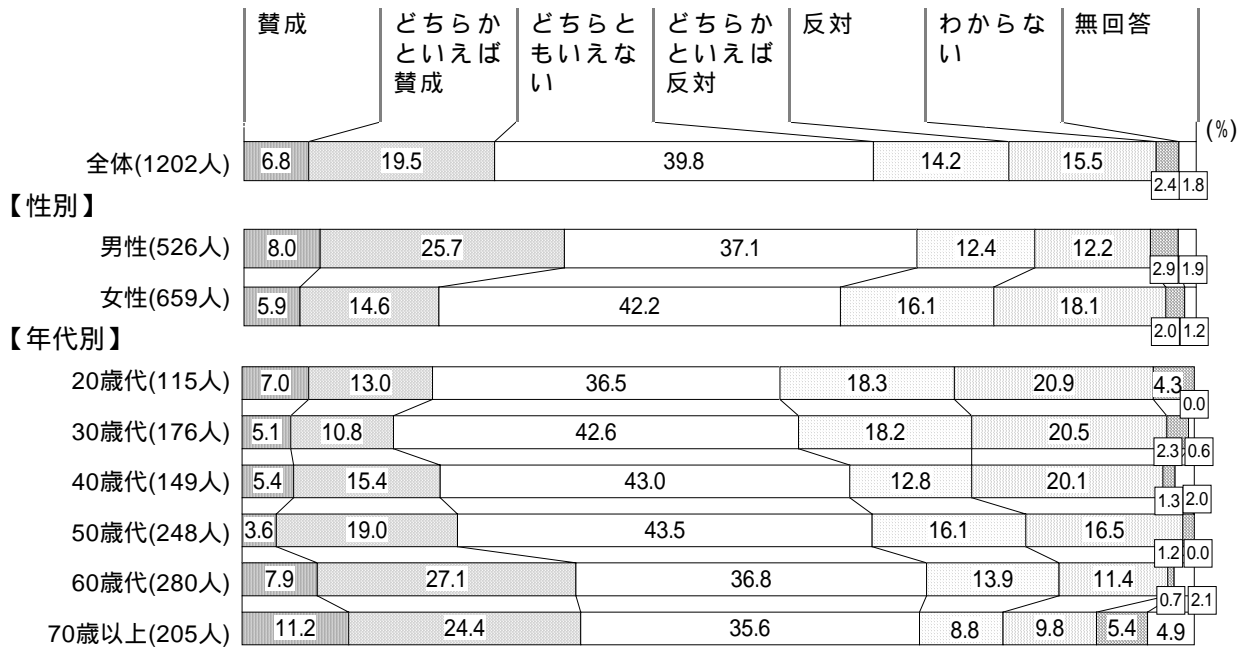


6 - 3 . 男女役割分担意識

“ 賛成である ” 26.3%、 “ 反対である ” 29.7%

問21 . あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。1つ選び、番号を で囲んでください。

男女役割分担意識



全体で見ると、「賛成」が6.8%、「どちらかといえば賛成」が19.5%で、“賛成である”は26.3%となっています。一方、「反対」が15.5%、「どちらかといえば反対」が14.2%で、“反対である”は29.7%と“賛成である”をやや上回っています。

性別で見ると、男性は“賛成である”が“反対である”よりも、女性は“反対である”が“賛成である”よりも多くなっています。

年代別で見ると、50歳代までは“反対である”が“賛成である”を上回っていますが、60歳代以降では“賛成である”の方が多くなっています。